

# 公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2024年9月9日（月）16時00分～17時40分

場 所：日本天文学会事務所（オンライン開催）

出席理事：井田茂、野村英子、百瀬宗武、勝川行雄、町田真美、鈴木竜二、酒向重行、安東正樹、津村耕司、廿日出文洋、大朝由美子、金田英宏、吉田直紀、楠瀬正昭、石川遼子

出席監事：松尾宏、山田亨

欠席理事：山村一誠、野澤恵

吉田理事は16時12分からの参加であった。また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐が出席した。Code of Conduct/ハラスメント防止ガイドライン策定タスクフォース報告のために、望月優子タスクフォース座長が出席した。

## I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、開始時点の出席者が14名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 井田会長、野村副会長、百瀬副会長、松尾監事、山田監事が署名人となることを確認した。

I-3. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2024年5月21日）の理事会議事録が報告され、承認された。

## II. 議題

本理事会の各議題は、井田会長より提案され、各担当理事に詳細説明を指示した。

II-1. 新規加入者の承認（資料3、町田）

2024年5月12日～2024年8月31日までに正会員入会申請130名、準会員から正会員への移籍2名、準会員入会申請14名があり、賛成多数で承認された。

II-2. インターネット天文学辞典編集委員会の追加について（資料4、勝川）

恒星進化分野の拡充のため、斉尾英行氏（東北大学名誉教授）を加えることが提案された。賛成多数で承認された。

II-3. 年会開催地について（資料5、勝川）

2026年春季年会を京都産業大にて開催することが提案され、賛成多数で承認された。

## III. 報告

III-1. 移籍・退会等の報告（資料3、町田）

2024年5月12日～2024年8月31日まで、正会員退会4名、準会員退会6名があったことが報告された。

III-2. 年会における開催形態（企画セッション等の扱い）について（資料6、百瀬）

年会開催規模が拡大していること、ハイブリッド開催の要望、会場となる大学の会場使用に関するルールが厳格化していることなどにより、これまでと同様の年会運営を維持することが難しい

状況にある。持続可能な年会運営を行うために、通常セッションを運営するための必要最小限の会場確保数などを明記することを検討していることが報告された。これに対して、持続可能な学会運営方法の検討は大変重要であること、春季年会にあわせて開催しているジュニアセッションについても考慮する必要があることが意見として述べられた。

### III-3. PASJ 編集委員会からの報告（資料 7、安東）

欧州アクセシビリティ法に準拠のために、OUP 社が発行するすべての論文(電子版)の図に「ALT Text」を追加することとなったため、PASJ もこれに準ずること、LaTeX クラスファイルが更新されたこと、XRISM 衛星特集号を刊行予定であることが報告された。

### III-4. 年会実行委員会からの報告（資料 8、廿日出）

2024 年秋季年会(関西学院大学神戸三田キャンパス、9 月 11 日-13 日)の開催準備状況、登録者数(講演者 620 名、聴講者 294 名、9 月 9 日現在)、現地講演が原則だが、申請制でオンライン講演も募集したことが報告された。これに対し、実際のオンライン講演申し込み数が質問され、30 名程度であることが返答された。2025 年春季年会は、水戸市民会館(茨城大学)で 3 月 17 日-20 日に開催されること、会場数の制約のため企画セッションは募集しないこと、ハイブリッド開催の可否は 10 月中にアナウンス予定であること、5 年半ぶりに懇親会を開催予定であることが報告された。これに対し、ジュニアセッションの同日程開催は可能か確認があり、2024 年秋季年会中に年会実行委員長、ジュニアセッション委員長、開催地理事で議論する予定であることが返答された。

年会参加・講演登録システムの業者委託を検討しており、早ければ 2025 年秋季年会で採用したい旨が報告された。これに対して、予稿集の投稿規定の変更の可能性が質問され、様子を見ながら改訂する予定であると返答された。2025 年度予算には計上せず、事業化の目途が立った段階で、理事会、代議員総会を経て予算措置されることが妥当であることが確認された。

### III-5. 日本天文学白書について（資料 9、勝川）

2026 年度末に初版の作成を目標としていること、秋季年会最終日 9 月 13 日に第一回の特別セッションを開催することが報告された。

### III-6. Code of Conduct/ハラスメント防止ガイドライン策定タスクフォース報告（資料 10、望月）

最初に日本天文学会で Code of Conduct を作成することの経緯と意義が説明され、その後現在の素案が提示された。Code of Conduct の適用範囲を前文に明記することの意義が説明され、適用範囲をどのようにするか意見交換がなされた。また、一部文言の修正提案、運用形態に関して質問があり、実務理事および日本天文学会の既存の委員会と協力することを念頭に、タスクフォースでさらに議論すると返答された。引き続き意見があればタスクフォースへメール等で伝えることが共有された。

### III-7. 天文教育委員会からの報告（資料 11、大朝）

秋季年会中に天文教育フォーラムを開催すること、講師紹介プログラムと監修者紹介プログラムの状況、女子中高生夏の学校へ参加したことなどが報告された。

### III-8. 次期委員の推薦に関して（資料なし、勝川）

2025 年 6 月より次期委員会の任期となるため、次期委員の選定・推薦の依頼がなされた。

[資料リスト]

- 資料1 理事会出欠表
- 資料2 公益社団法人日本天文学会理事会（2024年5月21日）議事録（案）
- 資料3 加入者・移籍の承認、退会者報告（2024年5月12日—2024年8月31日）
- 資料4 インターネット天文学辞典編集委員会の増員
- 資料5 天文学会年会（2026年3月）開催地について
- 資料6 年会における開催形態（企画セッション等の扱い）について
- 資料7 PASJ 編集委員会からの報告
- 資料8-1 年会実行委員会活動報告
- 資料8-2 年会参加・講演登録システムの導入について
- 資料9 日本天文学白書委員会報告
- 資料10 Code of Conduct/ハラスメント防止ガイドライン策定タスクフォース報告
- 資料11 天文教育委員会からの報告

2024年9月9日

会 長：井田 茂 印

副会長：野村 英子 印

副会長：百瀬 宗武 印

監 事：松尾 宏 印

監 事：山田 亨 印